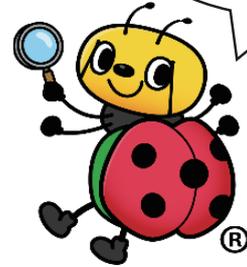


植物防疫所は農林水産省の機関で、日本の植物に被害をもたらす海外からの病害虫の侵入を防ぐため、全国の主要な港や空港で「輸入検疫」や、諸外国の求めに応じた「輸出検疫」を行っています。また、重要病害虫の国内でのまん延を防ぐための「国内検疫」などの業務を行い、日本の農業と緑を守っています。

これらの目的を達成するため、植物防疫所の職場を北は北海道から南は沖縄まで、全国50ヶ所以上に設置し、専門的な資格を有する植物防疫官を配置しています。全国各地で活躍出来る環境が整っている魅力ある職場でもありますので、興味を持たれた方は、ぜひ官庁訪問や各種説明会にお越しください。

植物防疫所って
どんなところ？



植物防疫所公式キャラクター
ぴーきゅん

Voice

～先輩からのメッセージ～

これまでどんな業務を担当してきましたか？



「ぴーきゅん」になることも！

これまでは輸入検疫のうち、主に種苗を担当し、郵便物や携帯品、貨物の検査を主にしていました。特に種苗の精密検定では、大学での経験が生かせたと思います。また、省としての植物防疫の方針を決める業務に携わる機会もありました。

塩釜支所ではコンテナや本船の輸入貨物の検査や、クルーズ船や旅客機の乗客の携帯品検査、隔離検疫、大臣許可業務等の、輸入業務はもちろん、輸出検査や病害虫の調査等の輸出国内関係の業務応援等、塩釜支所の業務はなんでもこなしています。

現場から行政まで、植物防疫所の仕事は多岐にわたり、様々な分野で活躍するチャンスが得られると思います。

なぜこの仕事を選んだのですか？

大学時代、研究室の先輩や同級生で公務員を志望・就職する方が多かったことから、学んだことを活かすなら公務員かな、と漠然と考えていました。植物防疫所の仕事は、病害虫蔓延の被害や植物の輸出入検疫の重要性など、思ったよりも在学中に学んだことと業務が繋がっていると実感する場面があって驚きました。一方で、採用前は植物と向き合っている仕事のイメージでしたが、植物本体よりも付着している微小な昆虫等とルーペや顕微鏡を通して向き合う時間が多く、日本が警戒している害虫の侵入調査のために仕掛けているトラップに入った虫を同定する作業もありますので、自分が極端な虫嫌いでないことに内心ほっとしています。



侵入調査トラップ（ミバエ用）

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

採用等に関する問合せ先：横浜植物防疫所総務部庶務課人事第1係



ホームページ： <http://www.maff.go.jp/pps/>

電話：045-211-7150 メール：syokubou.saiyou@maff.go.jp



農林水産省YouTube公式チャンネル
【BUZZMAFF】ぴーきゅんTV